

🌸 シュクレ通信イベントのお知らせ 🌸

箸も手に付かないほど気になっておられるであろうイベントの内容とは、『喫茶シュクレ通信』の開催です。定休日の店内をジャックし、編集長自らがマスターを務め、一日限りオープンさせる純喫茶企画です。これはシュクレクルのイベントではなく、あくまでシュクレ通信のイベントです。だから岩永シェフが焼く特別なパンや、モンテベロのお菓子は出ません。用意している物といえば、こねくり回した長い名前の簡素な飲み物と軽食だけです。

メニュー例

「凡庸と普通の地平線上に沈む夕陽」というコーヒー

「非日常または恋」というミックスジュース

「シナプスの歡喜とシンコペーション」というAランチ

上記の予定しているメニューからも察しのつく通り、極めて間口が狭く需要の少ないディープなイベントになると予想されます。さらに「フラッと来たら定休日か。でもなんかやってるっぽいから入ってみよう」みたいな方は入店をお断りするという暴挙に出ます。

それはこの新聞の空気感や悪ふざけなどから、ほんのわずかであったとしても、琴線に触れた方のみが集う場所を作りたいからです。共有したいのは空間そのものです。

普段は暗い洞窟の壁に石で文字を削るように、誰の目に入るとも分からぬまま書き続ける、まさに暗中模索の手探り作業です。一日ぐらいはその壁に興味を持った方と憩いの場を設け、太陽が照らす眩しさを感じてみたいのです。

洗濯機が回転し始めてから脱水するまでの一部始終を見届ける会(詳細不明)、よりも反響の少ないであろうマニアックなイベントに是非ともご参加ください。皆様の度量に頼りっぱなしの盛りだくさんの内容と、当日のみのスペシャルサプライズも用意しています(と、ばらした時点で厳密にはサプライズではないという無情)。にわか読者様も大歓迎です。

🌸 と き : 9月17日(月曜日) 敬老の日

🌸 じ か ん : 10時~16時ラストオーダー

🌸 と こ ろ : ル・シュクレクル 店内

🌸 あいことば : 「ボンジュール!」と呼びかけたら
「そういうの照れます」と返してください